

東京パラリンピック閉会式を彩ったオブジェ(中央)。サンコロナ小田の「オーガンザ」があしらわれた
=5日夜、国立競技場



5日夜に東京・国立競技場で行われた東京パラリンピック閉会式で、都内の街並みを再現した舞台美術に繊維素材メーカーのサンコロナ小田(小松市)が手掛ける極薄の織物が用いられた。同社は選手村のカーテン素材も提供しており、小田外喜夫社長は「世界のスポーツの祭典で、このように役に立てたのは大変有り難いことだ」と喜んだ。

閉会式中盤に登場したカラフルな高層ビルのようなオブジェに、薄地の透ける織物「オーガンザ」が使用された。制作したのはファッションブランド「トモコイズミ」を展開するデザイナー小泉智貴さんで、9色のオーガンザ計500平方メートルを幾重にもあしらった作品となった。

パラ閉会式に 素材提供

サンコロナ小田

北陸経済

いる。
サンコロナ小田のオーガンザは、五輪閉会式で国歌を独唱した歌手MISIAさんのドレスにも使われ、注目を集めた。

選手村のカーテンも

選手村のカーテンに採用されたのは、環境に優しい再生ポリエステル繊維。大会エンブレムと同じ藍色で、計6千平方メートルの生地を提供した。

東京五輪・パラリンピックではこのほか、北陸の企業が運営を陰ながら支えた。小型家電のリサイクルを手掛けるミナミ金属(金沢市)はメダル製造に携わり、ゴールドウイン(本店・小矢部市)はポッチャ日本代表ユニホームを開発した。

都内の街並み再現

2021年9月7日(火)
北國新聞 5面